

2020年「若手セミナー（オンライン）」実施報告



日本地下水学会 若手支援・男女共同参画（YEPS）委員会

榊原 厚一*1

2020年11月4日（水）10:00～12:00にweb会議システムを用いて、若手セミナーをオンライン開催しました。新型コロナウイルス感染症の世界的大流行という未曾有の災禍の中で、「地下水学を学んだ先に何があるのか、地下水学は将来にどのように役に立つのか」という漠然たる不安を抱いている方々が少なからずいることを感じておりました。今回、「地下水」の分野で国内外にてご活躍されている4名の講師の方をお招きし、キャリアパスの紹介・それぞれの分野や場における体験談をお話いただくことで、そのような漠然たる不安の解消の一助とすることを目的として実施しました。本若手セミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催となった2020年秋季講演会（2020年11月4日～5日）のプログラム開始前に実施し、技術者・研究者・学生を含む51名の方々にご参加いただきました。

<講演>

*[]内は講演タイトル

- ◆ 中山 宏之（株式会社 地球システム科学）[コンサルタント業務を通じて]
- ◆ 川崎 雅俊（サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社）
[人と自然が響きあう持続可能な社会づくりを目指して 地下水学からのアプローチ]
- ◆ 吉岡 真弓（産業技術総合研究所）[研究で働くということ]
- ◆ 阪田 義隆（北海道大学）[企業から大学へのキャリア形成：振り返って思うこと]
(敬称略)

講演では、企業・研究所・大学というそれぞれの立場から、業務内容や現在の仕事に至った経緯を実体験を含むリアリティある内容でお話いただきました。山岳地や途上国等の過酷な環境における地下水調査・研究の業務、企業と地下水学の相互発展、研究所の責務、人脈形成の大切さ等を含む内容は、とても興味深く多くの参加者の皆様の刺激となったと思います。とりわけ、地下水学を志す人材の重要性を再確認できたことは、非常に大きな成果であると思いました。さらに、地下水学に関わる企業の業務・活動、研究所における修士卒を含むキャリアパス、企業の第一線で活躍するキャリアからの研究者への道が実際にあるという情報は、若手の皆様のキャリア形成の参考になったのではないのでしょうか。

*1 信州大学

アンケート集計結果報告

若手セミナー後に実施したアンケートの集計結果を図 1 に示しています。その結果を見ると、参加者の 66%が社会人の方で、34%が学生の方でした。集計を詳細にみると学生の方は非会員の割合が高いようでした。若手セミナーの内容では、95%の方から、“とても良かった”，または、“良かった”との回答を得ることができました。若手セミナーは、2時間でしたが、適切な時間だったようです。良かったと回答いただいた方の意見としては、“人生経験を含め、率直な体験談が聞いて良かった”，“普段聞けないお話が多く、今後の参考になった”，“進路を考える良いきっかけとなった”という意見を多くいただきました。一方で、一方通行ではなく対話型の運営を求める声や、地下水学を担う学生さんのより多くの参加を希望する声等、今後の若手企画において改善していくべき意見もいただきました。また、多くの方から今後も参加したいという意見をいただきましたが、“オンラインであれば参加したい”や“対面であれば参加したい”という意見があるということは、今後の運営として考慮すべき点であると思われました。さらに、情報源は、web、メーリス、知人等多岐にわたるため、多方面からの情報発信が重要であるということが分かりました。

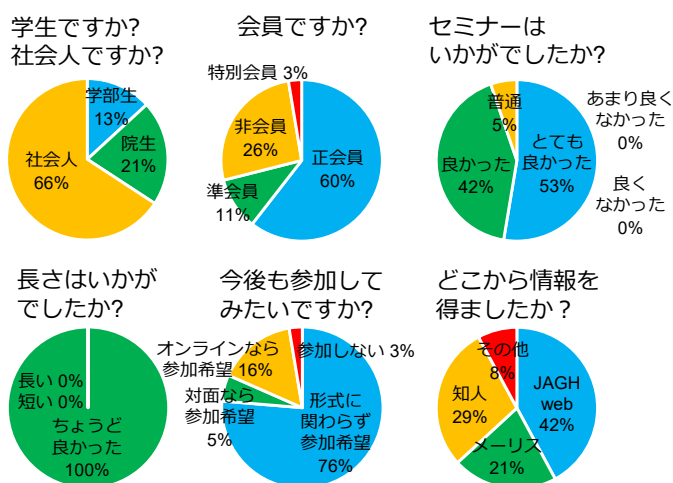


図 1. Google form を
利用したアンケート
の集計結果

51名の参加者のうち
38名からの回答
(回収率：75%)

おわりに

お忙しい中、若手セミナーへ御参加下さった方へ、この場をおかりして厚く御礼申し上げます。YEPS委員会では、今後も様々な企画・運営を行い、地下水学に関わる若手の皆様への支援・繋がりづくりの場を積極的に展開していきたいと考えております。ご意見・ご要望、若手会への入会希望、若手ニュースメールの登録希望等、ございましたら下記までご連絡いただけますと幸いです。

連絡先 (地下水学会事務局) : [chikasui \(at\) nifty.com](mailto:chikasui@nifty.com) (“at”を@に変換)